

【創世記第3章】

神である主は、人に呼びかけ、彼に仰せられた。

「あなたは、どこにいるのか。」(創3:9)

アダムの助け手として造られたエバと共に、人は素晴らしいエデンの園に住まい祝福された生活ができたはずですが、、何とそこに登場するのがサタンです。野の獣のうちで一番狡猾な蛇がそそのかします。「神は、ほんとうに言われたのですか？あなたがたは決して死にません。」サタンはどこまでも賢く、また嘘つきです。巧みに言葉の罠で人を陥れ、神の言葉に疑いと惑わしをもたらします。「あなたがたは、それを食べてはならない。それに触れてもいけない。あなたがたが死ぬといけなから。」と神に言われていた木の実を女は食べてしまい、それを夫にも食べさせました。(原罪)夫は神の言葉を思い出して、NO!と拒絶すればよかったのですが、神の言葉を忘れてしまい、簡単に女の甘言に騙されてしまったのです。日常の中によく見受けられることです。

その木は食べるのによく、目に麗しく、いかにも好ましかったとあります。誘惑にまんまとかかかってしまいました。実を食べたことから二人の目が開き、裸である事を知って、いちじくの葉をつづり合わせて腰の覆いを作りました。そよ風の吹く頃(世界一と言われるパトモス島の風を思い出しますが)彼らは園を歩き回られる神である主の声を聞きました。「あなたは、どこにいるのか。」全知全能の神様はすべてをご存じでした。しかしあえてこのように二人に問われ、自覚を促したのですね。「どこにいるのか？」今いるべき所にちゃんと立っているでしょうか？私たちにも問われています。意味の深い問いかけです。彼らは裸なので恐れて隠れたのです。すると神は仰せになりました。「あなたが裸なのを誰があなたに教えたのか。～」人はこの女がくれたのだと言い逃れ、女は蛇が惑わしたのだと言い、罪のなすり合いをしています。結局蛇には呪いが与えられ一生腹ばいになって歩きチリを食べる事、女には産みの苦しみを増し、夫を恋い慕うこと。神の声ではなく、妻の声に聞き従った人には一生苦しんで食を得る事を罰として課されました。

15節には「わたしは、おまえと女との間に、また、お前の子孫と女の子孫との間に、敵意を置く。彼は、お前の頭を砕き、おまえは、彼のかかとにかみつく。」と預言されています。これが原福音です。罪を犯した人間にイエス・キリストの救いが与えられますが、蛇にかかとをかまれるのです。つまり、サタンは痛みとダメージを与えて信仰者の邪魔をしますが、女の子孫つまりイエス・キリストは決定的にサタンの頭を砕くことが預言されています。これは救い主の贖いの死からの復活によって実現しました。逆転の大勝利ですね。

神はエデンの園から二人を追放されましたが、彼らに皮の衣を作り着せて下さったのです。あわれみの神様です。それからの人の歩みは土を耕し、いばらとあざみの生えた地を耕す苦悩の人類の歴史が始まります。

* 皆様のお手荷物・貴重品等には十分ご注意ください。
教会内での紛失や盗難等については一切責任を負いかねます。



TLCCC FRH

天に登録されている長子たちの教会

Church of the Firstborn who are Registered in Heaven

主任牧師：イエス・キリスト

牧師：ダニエル大重

SHILOAM

【シロアム：遣わされた者】

2014.6.15 No.793

新年のみ言葉

いつも主にあって喜びに満たされなさい。

もう一度言います。喜びなさい。

ピリピ書4章4節

神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。

ヨハネ3：16



主の十字架クリスチャンセンター(TLCCC)

The Lord's Cross Christian Center

<http://astone-blog.jp/tlcccfhr/>

